

## 取組事例

(朝型の働き方・**所定外労働削減**・**年休取得促進**・多様な正社員・**テレワーク**)



企業名：(株)中部システムセンター	所在地：三重県津市
社員数：約8名	業種：卸売業、小売業

### 取組の目的：

ワークライフバランスを推進することで、仕事の生産性向上と私生活時間の確保を図り、会社の業績向上と社員の生きがいや働きがいの向上を実現する。

### 取組の概要：

#### <現在の取組み>

##### ○ トップメッセージ

- 「自らの働き方を変える。成果を上げる。お客様に広げる。」
- 「時間当たり生産性を上げて、労働時間を減らしながら業績を上げる。」
- 「仕事だけでなくプライベートの時間を充実させ、豊かな人生を送る。」

##### ○ 所定外労働時間削減および年次有給休暇の取得促進

###### 【業務基準の設定と社員への権限移譲】

- ・顧客対応や社内業務においてあらゆる業務基準を設定し、権限移譲を行う事で、均一でスピーディーな業務運営を実施。

###### 【ITによる顧客障害管理と物流アウトソーシング】

- ・販売商品である顧客先のオフィス機器を遠隔監視し、常にプレメンテナンスを行う事で、突発的な通報を減らし、時間外対応を無くした。
- ・オフィス機器の消耗品残量を遠隔検知し、自動的に配送業者に配達業務をアウトソーシングすることで、主要業務に時間を回せるようになった。

###### 【ITツール活用によるリモートワーク】

- ・モバイル端末を使用して遠隔で顧客先のPCや機器のサポートを行ったり、社内端末に繋いで外出先で社内業務を実施して、移動時間を削減し時間を有効活用できる。

###### 【ファミリー時間休暇制度】

- ・「出産前後の妻のサポート」「保育園の送り迎え」「子の行事への参加やサポート」など、出産前から小学校3年生までの子を持つ社員が気軽に仕事を抜けられるように、年間48～96時間で有給休暇とは別に1時間単位の休暇を取得できる。

###### 【一顧客・一業務複数人担当制】

- ・1社ごとのお客様や1件ごとの業務案件を複数人が担当して受け持つことで、誰かが休暇を取得しても別のメンバーで対応可能な体制ができている。いざという時の長期休業などにも対応できる。

**現状とこれまでの取組の効果：**

- 所定外労働時間が、これまで全社員の月平均で1日当たり90分程度であったが、現在は20分程度に減少した。
- 年次有給休暇取得率が、これまで50%程度の社員が数名いたが、現在は全員が80%～100%取得するようになった。

(H30.1)